



特集

2013年冬 財政学研究会冬企画講演会

## 「財政赤字の淵源－なぜ巨額の 財政赤字が形成されたのか」

---

本特集は、2013年2月6日に京都大学楽友会館にて開催された、財政学研究会冬企画講演会の記録である。

この講演会では、慶応義塾大学の井手英策先生より「財政赤字の淵源」と題して、同タイトルの先生の近著の内容はもとより、先生の財政と金融の双方に通じた幅広い見識にもとづくお話しを頂いた。具体的には、わが国の戦後の財政運営を振り返り、今日巨額に積み上った財政赤字が形成された背景について、「大蔵省統制」・「土建国家」といったキーワードを用いて検討がなされた。その上で、わが国財政運営の現在の課題を克服していくためには、国民が公共サービスの提供に対して受益感・信頼がもてるよう、増税を可能とする新たな統治メカニズムを構築する必要がある、との指摘がなされた。

当日は、京都の冬の寒い時期にも関わらず、財政学研究会会員をはじめ30名を超える多数の参加があった。活発な質疑応答も行われ、非常に有意義な機会となった。

『財政と公共政策』編集委員会

---